

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和4年3月29日(2022.3.29)

【公開番号】特開2020-153508(P2020-153508A)

【公開日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2020-039

【出願番号】特願2019-55406(P2019-55406)

【国際特許分類】

F 16 K 15/00(2006.01)

10

F 16 K 15/03(2006.01)

【F I】

F 16 K 15/00

F 16 K 15/03 F

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月18日(2022.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被取付部に取り付けられて使用される逆流防止装置であって、
前記被取付部に取り付けられ、弁座部を有する装置本体と、
この装置本体に設けられ、前記弁座部に対して接離する弁体とを備え、
通常使用時には前記弁体と前記弁座部との間に隙間が存在し、逆流時には前記隙間がなく
なる

ことを特徴とする逆流防止装置。

30

【請求項2】

隙間は、上流側からの気体が流通可能な僅かな隙間である
ことを特徴とする請求項1記載の逆流防止装置。

【請求項3】

隙間は、弁体が上流側からの排水に押されることにより拡大する
ことを特徴とする請求項1又は2記載の逆流防止装置。

【請求項4】

装置本体は、弾性体を介して被取付部に取り付けられた状態時に、前記装置本体の姿勢を
維持する姿勢維持用凸部を有する

ことを特徴とする請求項1ないし3のいずれか一記載の逆流防止装置。

40

【請求項5】

弁体は、装置本体側とは反対側に向かって開口する把持用凹部を有し、
前記装置本体は、この装置本体の両側に形成された把持用平面部を有する
ことを特徴とする請求項1ないし4のいずれか一記載の逆流防止装置。

50